

これ以上 命を傷つけないで



市内での悲惨な交通事故現場（甲賀警察署提供）

市内での交通死亡事故は今年（11月25日現在）、9件で、11の方が尊い命を亡くす県内最悪の状況となっています。事故は、決して偶然に起こるものではありません。不注意や違反、マナーの悪さなど、原因が必ずあります。小さなことが人を傷つけ、大切な命を奪ってしまうことになりかねません。慌ただしい年末年始を控え、交通事故が多くなりがちな季節を迎えますが、これ以上、命を傷つけることを防がなければなりません。死亡事故最多の汚名返上はもちろん、悲しみや苦しみを限りなくゼロにいくために。

交 通違反や事故を起こそうと思っている人は誰もいません。しかし、スピード違反やシートベルト未着用、物損や人身事故などが市内で毎日のように発生するのはなぜでしょう。

正規職員、嘱託職員、臨時職員を合わせて約1400人が勤務する市役所でも、通勤途上や休日、公用車での移動の際に、職員による違反行為や交通事故が発生し、その度に安全運転の徹底が呼びかけられています。今年4月から10月の間で、57件の事故が起きています。

今回、当事者の一部を対象に調査を行いました。その結果、違反や事故を複数回起こしている職員が半数におよ

び、繰り返し起こす可能性の高い運転をしていることが浮かび上がりました。また、違反や事故を起こしたときの状態は、「急いでいた」が大部分で、時間的に余裕のない状態で出かけていることを物語っています。このような状態では、法定速度を守ることが難しく、おそらく車のスピードも速度規制を上回っている可能性があります。

時間間に合わせようと焦る気持ちは、アクセルに力が入り、周囲への注意力もおろそかになりがちです。あくまでも一部の市職員の調査ですが、交通事故や違反をなくするための基本的な注意点は、ハンドルを握る方の多くは、止まると思った相

市役所から安全運転をアピールしたい



職員課長 すぎたひろのり 杉田洋典

市の職員による物損や交通違反は、過失割合に関係なく軽微なものも含めると年間100件を超えます。法令を守るべき立場でありながら、事故や違反件数がこのような数になっていることを重く受け止めています。自動車を運転するということは、自分自身はもちろん、同乗者や道路を利用する多くの方の命に向き合うということです。仕事で急いでいた、などという言い訳は通りません。市内では交通事故が多発していますが、まずは市職員の事故や違反をゼロにし、市役所から安全運転をアピールしていかねればならないと思っています。このため、職員一人ひとりが模範運転を実践するよう徹底して指導していきます。